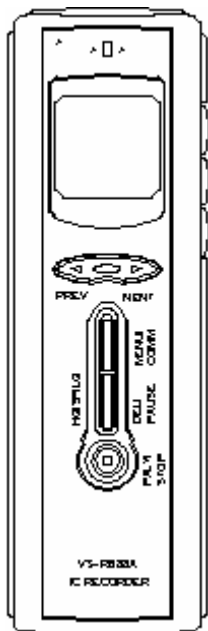


VASO[®]

シンプル ICレコーダー

IRx88A



取扱説明書

安全に正しくお使いいただくために

この度は、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を正しくご利用頂くための基本的なお取り扱い方法などが記載されております。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。



ご注意

本製品を使いこなすためには、各種音声コーデックやパソコン、オペレーションシステム(OS)に関する詳しい知識が必要となる場合がございますが、この取扱説明書ではそれらの情報については解説しておりませんので、市販の解説書などをご参考にしてください。また、これらの情報について当社にお問い合わせ頂いても、当社ではご案内出来ませんので予めご了承ください。

本製品の取り扱いについて

- ◎ 分解や改造をしないでください。
- ◎ 機器が故障したり、金属物が入ると、火傷や感電、火災の原因となります。
- ◎ 製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ◎ 自動車やバイク、自転車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- ◎ 歩行中でも周囲の交通にご注意ください。
- ◎ 以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。
 - 60度以上の高温になる場所
 - 火気付近
 - 窓を閉め切った車内(特に炎天下)
 - 浴室などの湿度の高い場所
 - ほこりの多い場所
- ◎ 液晶画面に過度の力を加えないでください。画面や機能を損傷する原因になります。
- ◎ クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。相互故障の原因となります。
- ◎ 航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ影響を与えることがあります。
- ◎ 修理、その他による原因で消去されてしまった録音内容、データについては、当社は責任を負いかねます。
- ◎ 音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与える可能性があります。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。
- ◎ 水に濡らさないでください。

電池の取り扱いについて

- ◎ 電池の＋と－の向きは正しくセットしてください。
- ◎ 長時間使用しない場合は、電池をはずした状態にしてください。
- ◎ 使用済みの乾電池を再充電しないでください。
- ◎ 加熱、分解をしたり、火や水の中に放置しないでください。
- ◎ ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
- ◎ 被覆のはがれた電池は使用しないでください。
- ◎ 新しい電池と古い電池が混在した状態で使用しないでください。
- ◎ 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚染の原因となります。
- ◎ 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。

免責事項

- ◎ 製品の故障、誤動作などの要因により、録音の消失や無録音などにおいて、発生した損害などの付随補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ◎ 製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

著作権について

- ◎ 私的用途以外で、著作権、歌唱、あるいは演奏・公奏などの録音物を複製したり、無断で録音することは法律などにより禁じられています。

録音についてお願い

- ◎ 取り直しの利かない録音の場合、必ず事前に録音テストをしてください。

- 目次 -

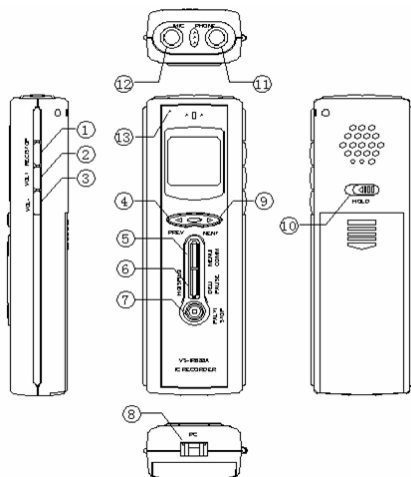
製品の特徴	6
製品各部の名称	7
ディスプレイの表示	8
電池の取り扱い	9
電池の取り付け	9
電池残量表示	9
電源の ON/OFF	10
電源の ON	10
電源の OFF	10
ホールド機能	11
各種メニュー機能の設定	12
残り録音可能時間の確認	12
時刻の設定	13
タイマー録音の設定	14
アラームの設定	16
VOS 機能の設定	18
録音感度の設定	19
ノイズ縮退の設定	20
音声を録音する	21
音質モードの設定	21
内蔵マイクでの録音	22
外付けマイクでの録音	23
メモリが一杯になると	24
録音件数が一杯になると	24

録音した音声を再生する	25
再生音量の調節	25
内蔵スピーカーでの再生	25
イヤホンでの再生	27
録音した音声ファイルを削除する	28
1 件削除	28
全件削除	30
外部のオーディオとの録音	31
外部オーディオからの録音	31
外部オーディオへの録音	32
固定電話の通話内容を録音する	33
機器の接続	33
録音の実施	34
パソコンに接続する	35
接続に必要な環境	35
接続用ソフトの準備	36
接続の実施	37
データの転送	39
本製品内のデータをパソコンへ転送する	39
パソコン内のデータを本製品へ転送する	40
転送する速度を変更する	41
録音ファイルをパソコン上で再生する	42
録音ファイルのフォーマット変換	42
フォーマット変換した録音ファイルを再生する	44
トラブルシューティング	45
主な製品仕様	46

製品の特徴

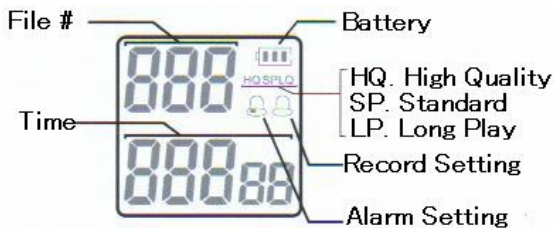
- 3種の録音モード(HQ:高音質、SP:標準、LQ:長時間)
- VOS(静音機能)
- 近距離・広範囲での録音範囲の設定が可能
- ノイズ縮退機能
- 時刻表示
- アラーム機能
- タイマー録音
- 1件/全件消去
- 自動電源オフ
- バッテリー残量表示
- 外部マイク録音
- 早送り、巻き戻し
- デジタル音量調整
- PC 連携機能

製品各部の名称



- ① 録音／停止
- ② 音量+
- ③ 音量-
- ④ 前ファイル
- ⑤ メニュー／PC 接続
- ⑥ 音質モード選択／削除／一時停止
- ⑦ 再生／停止
- ⑧ PC 接続端子
- ⑨ 次ファイル
- ⑩ ホールド
- ⑪ 出力端子(イヤホン差込口)
- ⑫ 入力端子(マイク差込口)
- ⑬ LED ランプ

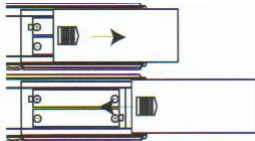
ディスプレイの表示



電池の取り扱い

電池の取り付け

本製品は単4アルカリ電池2本を電源として使用します。



本製品背面の電池蓋をスライドさせて取り外し、単4アルカリ電池2本をプラス(+)とマイナス(-)の向きを確かめて正しくセットしてください。



ご注意

- ※ 長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。
- ※ 誤った操作をされるとデータが消去される可能性がありますので、電池の出し入れの際は、録音・再生を停止してください。
- ※ 電池の極性を誤ってセットすると、製品の故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

電池残量表示

電池残量のめやすが、ディスプレイに表示されます。

電池残量のめやすにしたがって、お早めの電池交換をお勧め致します。



[残量十分]



[残量やや不足]



[交換時期]



[自動電源 OFF]



ご注意

- ※ 電池の交換時には新品の電池をご使用ください。
- ※ 電池の持続時間はお使いになる条件(電池自身の質量、音量の高低など)により異なります。

電源の ON/OFF

電源の ON

本製品には電源専用のボタンはございません。

本製品のどれでも任意のボタンを軽く1回押せば電源が ON となり、待機状態となります。

電源の OFF

待機状態のまま、何もボタン操作しない状態が60秒継続すると、本製品の電源が自動的に OFF となります。

ホールド機能

ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

本製品背面のホールドスイッチ⑩を矢印方向(右側)へスライドさせるとホールド機能が有効になります。機能が有効になると全てのボタン操作ができなくなります。

ホールド機能を解除するにはホールドスイッチ⑩を矢印と反対方向(左側)へスライドさせます。



ご注意

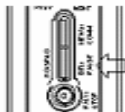
※ ホールド機能が有効な状態でボタンを操作するとディスプレイに[HOLD]と表示されます。

各種メニュー機能の設定

メニューボタン⑤を軽く1回押すと、メニュー選択モードになり、その後、メニューボタン⑤を軽く1回押すごとにメニューが下記の順で推移していきます。

●残り録音可能時間の確認

- ⇒●時刻の設定
- ⇒●タイマー録音の設定
- ⇒●アラームの設定
- ⇒●VOS機能の設定
- ⇒●録音感度の設定
- ⇒●ノイズ縮退の設定
- ⇒●残り録音可能時間の確認に戻る



ご注意

※ 本製品の電池を交換すると各種メニューの設定内容は全て初期状態に戻ります。

残り録音可能時間の確認

内蔵メモリに対する録音可能な残りの時間を確認することができます。

- (1) 残り録音可能時間は音質モードごとに確認しますので、待機状態で音質モード選択ボタン⑥を数回押し、HQ/SP/LQの中から残り録音可能時間を確認したい音質モードを選択します。
- (2) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く1回押すと、ディスプレイ上に録音可能時間が表示されます。

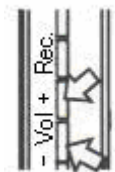


残り録音可能時間は【時間(H)分(M)秒(S)】で表示されます。上の図の例ではHQモードで残り36分14秒録音できることが確認できます。

時刻の設定

本製品の内部時計の時刻を設定します。

- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、時刻の設定メニューにします。
- (2) 時刻は音量＋ボタン②と音量－ボタン③を押して設定します。



- (3) 時刻が設定できたら、続いて前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、分刻の設定に移ります。



- (4) 分刻も時刻と同様に音量＋ボタン②と音量－ボタン③を押して設定します。
- (5) 時刻の設定が完了したら、最後にメニューボタン⑤を軽く1回押して設定内容を反映します。

⚠️ ご注意

- ※ 時間は 24 時間表示です。
- ※ 時刻の設定は電源の自動 OFF 後も有効ですが、電池の交換を行うとリセットされますのでご注意ください。

タイマー録音の設定

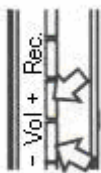
設定した時刻に自動的に録音を開始する機能です。



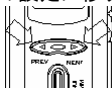
ご注意

※ 設定したタイマーの時刻は本製品の内部時計の時刻を参照しますので、事前に内部時計の時刻を設定してください。

- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、タイマー録音の設定メニューにします。
- (2) 時刻は音量+ボタン②と音量-ボタン③を押して設定します。

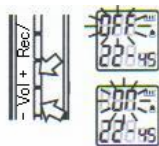


- (3) 時刻が設定できたら、続いて前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、分刻の設定に移ります。



- (4) 分刻も時刻と同様に音量+ボタン②と音量-ボタン③を押して設定します。
- (5) 時刻の設定が完了したら、続いて前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、機能の ON/OFF の選択に移ります。

- (6) 機能の ON/OFF の選択はディスプレイに[ON]または[OFF]が点滅している状態で、音量＋ボタン②または音量－ボタン③を押すごとに切り替わります。



機能を有効にする場合は[ON]にしてください。

機能を無効にする場合は[OFF]にしてください。

- (7) 最後にメニューボタン⑤を軽く1回押すと設定が反映されます。



ご注意

- ※ 本製品の電源が OFF の状態でも設定した時刻になれば自動的に録音が始まります。
- ※ 音声の再生中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、タイマー録音の設定が優先されるため、再生が停止し、録音が始まります。
- ※ 音声の録音中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、タイマー録音が優先されます。

アラームの設定

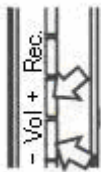
設定した時刻にアラームが鳴る機能です。鳴っているアラームを停止するには本製品のどれでも任意のボタンを軽く1回押します。



ご注意

※ 設定したアラームの時刻は本製品の内部時計の時刻を参照しますので、事前に内部時計の時刻を設定してください。

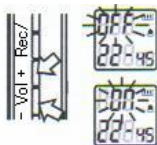
- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、アラームの設定メニューにします。
- (2) 時刻は音量＋ボタン②と音量－ボタン③を押して設定します。



- (3) 時刻が設定できたら、続いて前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、分刻の設定に移ります。



- (4) 分刻も時刻と同様に音量＋ボタン②と音量－ボタン③を押して設定します。
- (5) 時刻の設定が完了したら、続いて前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、機能の ON/OFF の選択に移ります。
- (6) 機能の ON/OFF の選択はディスプレイに[ON]または[OFF]が点滅している状態で、音量＋ボタン②または音量－ボタン③を押すごとに切り替わります。



機能を有効にする場合は[ON]にしてください。

機能を無効にする場合は[OFF]にしてください。

(7) 最後にメニューボタン⑤を軽く1回押すと設定が反映されます。



ご注意

- ※ 本製品の電源が OFF の状態でも設定した時刻になれば自動的にアラームが鳴ります。
- ※ 音声の再生中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、アラームの設定が優先されるため、再生が停止し、アラームが鳴ります。
- ※ 音声の録音中にアラームを設定した時刻になった場合、アラームの設定が優先されるため、録音が停止し、アラームが鳴ります。
- ※ 一度有効にしたアラームの設定は解除操作をしない限り、有効のままです。

VOS 機能の設定

録音中に録音する音声が無いときに自動的に録音を停止して無駄な録音を防ぐ機能です。

VOS 機能を有効にすると、録音中に一定以上の音量をマイクで感知できない状態が一定時間継続すると自動的に録音を停止し、再度一定以上の音量をマイクで感知すると自動的に録音を再開します。

- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、VOS 機能の設定メニューにします。
- (2) 機能の ON/OFF の選択はディスプレイに[ON]または[OFF]が点滅している状態で、音量+ボタン②または音量-ボタン③を押すごとに切り替わります。



機能を有効にする場合は[ON]にしてください。

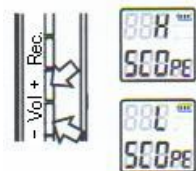
機能を無効にする場合は[OFF]にしてください。

- (3) 最後にメニューボタン⑤を軽く1回押すと設定が反映されます。

録音感度の設定

内蔵マイクの録音感度を設定する機能です。録音するときの環境に合わせて設定してください。

- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、録音感度の設定メニューにします。
- (2) 録音感度の選択はディスプレイに[L]または[H]が点滅している状態で、音量+ボタン②または音量-ボタン③を押すごとに切り替わります。



録音感度は[L]と[H]の2種類から選択します。[L]は主に近距離での録音時に適しており、[H]は主に広範囲にわたる録音時に適しています。

- (4) 最後にメニューボタン⑤を軽く1回押すと設定が反映されます。

ノイズ縮退の設定

内蔵マイクの録音時に入るノイズを軽減する機能です。録音するときの環境に合わせて設定してください。

- (1) 待機状態からメニューボタン⑤を軽く数回押して、ノイズ縮退の設定メニューにします。
- (2) 機能の ON/OFF の選択はディスプレイに[ON]または[OFF]が点滅している状態で、音量+ボタン②または音量-ボタン③を押すごとに切り替わります。



機能を有効にする場合は[ON]にしてください。

機能を無効にする場合は[OFF]にしてください。

- (5) 最後にメニューボタン⑤を軽く1回押すと設定が反映されます。

音声を録音する

内蔵マイクまたは外付けマイクを使用して音声を録音します。

音質モードの設定

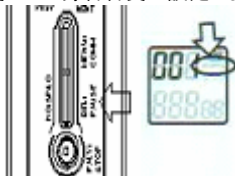
音声を録音する際は HQ/SP/LQ の3つの音質モードから1つを選択して録音します。現在の音質モードは待機状態のとき、ディスプレイ右上に表示されます。

録音音質は HQ が最も高音質であり、HQ ⇒ SP ⇒ LQ の順に音質は落ちて行きます。録音音質は高音質になるほど、録音するのに多くのメモリが必要となるため、長時間の連続録音をする場合は低音質の録音が適しています。

録音音質別最長録音可能時間表

録音音質	内蔵メモリ容量		
	IR488A	IR588A	IR688A
HQ	約 45 分	約 90 分	約 180 分
SP	約 160 分	約 320 分	約 640 分
LQ	約 220 分	約 440 分	約 880 分

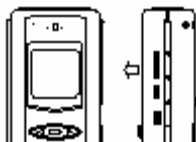
録音音質を変更するには待機状態で音質モード選択ボタン⑥を軽く1回押します。音質モード選択ボタン⑥を1回押す度に録音音質の表示が HQ ⇒ MP ⇒ LQ ⇒ HQ の順番で移って行きますので、音質モード選択ボタン⑥を数回押して変更したい録音音質に設定します。



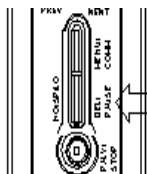
内蔵マイクでの録音

本製品の内蔵マイクを使用して、音声を録音します。

- (1) 録音を開始するには、待機状態で録音ボタン①を約2秒間、本製品正面の LED ランプ⑬が点灯するまで押し続けます。録音が始まると本製品正面の LED ランプ⑬が点灯し、ディスプレイ下部では一瞬[rECod]と表示された後、録音時間のカウントが開始されます。



- (2) 録音を一時停止するには、録音中に一時停止ボタン⑥を軽く1回押します。録音が一時的に停止されるとディスプレイに [PAUSE] の文字が点滅します。



- 一時停止状態から録音を再開するには、一時停止ボタン⑥を軽く1回押します。
- (3) 録音が長時間にわたる場合は、録音中に次ファイルボタン⑨を軽く1回押すことにより、新しいファイルとして追加することが可能です。
 - (4) 録音を終了するには、録音中に停止ボタン①を軽く1回押します。録音を終了されると本製品正面の LED ランプ⑬が消灯し、ディスプレイでは一瞬[StOP]と表示された後、録音が停止されます。

外付けマイクでの録音

本製品は内蔵マイクでの他、本製品上面の入力端子⑫に市販の外付けマイクを接続することによって、外付けマイクでの音声録音が可能です。なお、録音の手順は内蔵マイクでの録音手順と同じです。



ご注意

- ※ 鮮明な音声を録音するには、本製品上面の内蔵マイクまたは外付けマイクをできるだけ録音したい音源へ近づけてください。
- ※ 内蔵マイクまたは外付けマイクと音源の間に遮へい物があったり、内蔵マイクまたは外付けマイクがカバンや服などに隠れていたりする場合は、鮮明な音声が録音できませんのでご注意ください。
- ※ 外付けマイクでの音声録音中は、内蔵マイクからは音声が録音されません。

メモリが一杯になると

内蔵メモリが一杯になりますと、ディスプレイに[FULL]の文字が点滅表示され、それ以上の録音ができなくなります。

録音を継続したい場合は、不要ファイルを削除し、空きメモリ容量を確保してください。



録音件数が一杯になると

録音件数(ファイル数)が127になると、ディスプレイに[FULL]の文字が点滅表示され、それ以上の録音ができなくなります。

録音を継続したい場合は、不要ファイルを削除し、空きファイル数を確保してください。



録音した音声を再生する

録音した音声を内蔵スピーカーまたはイヤホンから再生します。

再生音量の調節

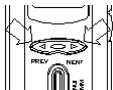
再生音量を調節するには、音量+ボタン②または音量-ボタン③を押して調節します。音量は0(無音)～9まであり、数値が上がるほど音量は大きくなります。



内蔵スピーカーでの再生

本製品の内蔵スピーカーから音声を再生します。

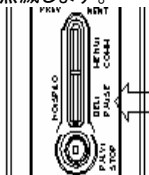
- (1) はじめに再生する録音ファイルを選択します。前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、再生したいファイル番号を選択します。



- (2) ファイルの再生を開始するには、待機状態で再生ボタン⑦を軽く1回押します。再生が開始されるとディスプレイに一瞬[PLAY]と表示された後、再生時間のカウントダウンが開始されます。



- (3) 再生中に再生を一時停止するには、再生中に一時停止ボタン⑥を軽く1回押します。再生が一時停止されるとディスプレイに [PAUSE] の文字が点滅します。



一時停止状態から再生を再開するには、一時停止ボタン⑥を軽く1回押します。

- (4) 再生中に早送り再生をするには、ファイルの再生中に次ファイルボタン⑨を押し続けます。巻き戻し再生をするには、ファイルの再生中に前ファイルボタン④を押し続けます。



早送り／巻き戻し再生を終了するには、押し続けているボタンを離せば、その時点よりの通常再生に戻ります。

- (5) 再生中に再生するファイルをスキップするには、ファイルの再生中に次ファイルボタン⑨を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、次のファイルの再生が開始されます。また、ファイルの再生中に前ファイルボタン④を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、前のファイルの再生が開始されます。



- (6) ファイルの再生を停止するには、ファイルの再生中または一時停止中に停止ボタン⑦を軽く1回押すと、ディスプレイに一瞬[StOP]と表示された後、再生が停止されます。



 **ご注意**

※ 早送り／巻き戻し再生中に音声は出力されません。

イヤホンでの再生

本製品は内蔵スピーカーでの他、本製品上面の出力端子⑪にイヤホンを接続することによって、イヤホンでの音声再生が可能です。なお、再生の手順は内蔵スピーカーでの再生手順と同じです。

 **ご注意**

※ イヤホンでの音声再生中は、内蔵スピーカーからは音声は出力されません。

録音した音声ファイルを削除する

不要になった録音ファイルを削除します。削除には1件削除／全件削除の2つの方法があります。



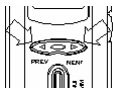
ご注意

※ 削除されたデータは復旧することができませんので、削除を実行する際は十分にご注意ください。

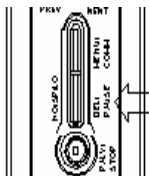
1件削除

選択した1件の録音ファイルのみを削除します。

- (1) はじめに削除する録音ファイルを選択します。前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を押して、削除したいファイル番号を選択します。



- (2) 録音ファイルの削除を実行するには、まず、待機状態で削除ボタン⑥を約2秒間、ディスプレイに[ErASE]の文字が点滅するまで押し続けます。



- (3) 次に、[ErASE]の文字が点滅している状態で、再度削除ボタン⑥を軽く1回押すと、該当ファイルが削除されます。

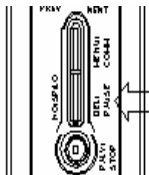


この時に削除をキャンセルする場合は[ErASE]の文字が点滅している状態で、削除ボタン⑥、前ファイルボタン④、次ファイルボタン⑨の3つのボタン以外の任意のボタンを軽く1回押すと、削除操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

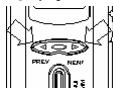
全件削除

本製品内の録音ファイルを全て削除します。

- (1) 全件の録音ファイルの削除を実行するには、まず、待機状態で削除ボタン⑥を約2秒間、ディスプレイに[ErASE]の文字が点滅するまで押し続けます。



- (2) 次に、[ErASE]の文字が点滅している状態で、前ファイルボタン④または次ファイルボタン⑨を軽く1回押して、ディスプレイに[ALL]の文字が点滅する状態にします。



- (3) 最後に、ディスプレイに[ALL]と[ErASE]が表示されているのを確認して、削除ボタン⑥を軽く1回押すと、本製品内の全ての録音ファイルが削除されます。



この時に削除をキャンセルする場合は[ErASE]の文字が点滅している状態で、削除ボタン⑥、前ファイルボタン④、次ファイルボタン⑨の3つのボタン以外の任意のボタンを軽く1回押すと、削除操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

外部のオーディオとの録音

付属のオーディオケーブルを使用して、外部オーディオから音楽などを録音したり、また、本製品の録音内容を外部オーディオへ録音します。

外部オーディオからの録音

付属のオーディオケーブルを使用して、本製品に外部オーディオから音楽などを録音します。

- (1) 機器を接続するには本製品上面の入力端子⑫と外部オーディオのイヤホン(出力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



- (2) 接続が完了したら、本製品の録音を開始してください。なお、録音の操作手順はマイクでの通常録音の操作手順と同じです。
- (3) 外部オーディオの再生を開始してください。なお、外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。



ご注意

- ※ 外部オーディオの音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は外部オーディオの音量を中音量より小さく調節してください。
- ※ 外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。

外部オーディオへの録音

外部オーディオに録音機能がある場合は、付属のオーディオケーブルを使用して、本製品の録音内容を外部オーディオへ録音することができます。

- (1) 機器を接続するには本製品上面の出力端子①と外部オーディオのマイク(入力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



- (2) 接続が完了したら、外部オーディオの録音を開始してください。なお、外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。
- (3) 本製品の再生を開始してください。なお、再生の操作手順は通常の再生手順と同じです。

⚠️ ご注意

- ※ 本製品の音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は本製品の音量を中音量より小さく調節してください。
- ※ 外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。

固定電話の通話内容を録音する

付属の電話回線アダプタを使用して、固定電話（一般家庭用）の通話内容を録音します。

機器の接続

付属の電話回線アダプタを使用して、本製品と電話機を接続します。

- (1) 本製品上面の入力端子⑫と付属の電話回線アダプタの出力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。
- (2) 電話機本体からモジュラーコードごと受話器を取り外します。
- (3) (2)で取り外した電話機本体のモジュラージャックに付属のモジュラーコードを差し込み、そのモジュラーコードの反対側を電話回線アダプタの[LIN]側のジャックに差し込みます。
- (4) (2)で取り外した受話器のモジュラーコードを電話アダプタの[HANDSET]側のジャックに差し込みます。



録音の実施

機器の接続を完了したら本製品の録音を開始してください。なお、録音の操作手順は内蔵マイクでの通常録音の操作手順と同じです。



ご注意

- ※ 付属品の電話回線アダプタは一般の固定電話機にのみ対応しております。ビジネスフォンなどには使用できませんのでご注意ください。
- ※ 一般の固定電話機であっても、お使いの電話機によっては通話音声鮮明に録音できない場合がございます。
- ※ 通話の録音ができるのは電話機本体の受話器を使用して通話した場合に限ります。ワイヤレスの子機の受話器などを使用した場合は通話の録音できませんのでご注意ください。

パソコンに接続する

付属のシリアルケーブルを使用して、お使いのパソコンのシリアル端子と接続し、データの転送を行うことができます。

接続に必要な環境

本製品とお使いのパソコンを接続するには、お使いのパソコン側の環境にいくつかの条件がございます。

- お使いのパソコンに WindowsMe/2000/XP のいずれかがインストールされていること。
- お使いのパソコン側に下図のようなシリアルポートが付いていること。



▼ ご注意

- ※ パソコンと本製品が付属のシリアルケーブルで直接接続されている必要がございます。
- ※ パソコンと本製品の接続に付属のシリアルケーブル以外の USB 変換コネクタなどの外部機器を使用する場合は、サポートの対象とはなりませんのでご注意ください。

接続用ソフトの準備

本製品とお使いのパソコンを接続するには、専用の接続用ソフトを使用します。接続用ソフトは付属の CD に収納されていますので、付属の CD がなくても、いつでも接続用ソフトを使用できるように、必要なデータをお使いのパソコンにコピーします。

- (1) 付属の CD をお使いのパソコンにセットします。
- (2) [マイコンピュータ]を開き、CD の中(直下)を確認してください。
- (3) CD の中(直下)には[dvr]以下6つのフォルダが存在しますので、[dvr]をフォルダごと、[デスクトップ]など任意の場所へコピーしてください。



ご注意

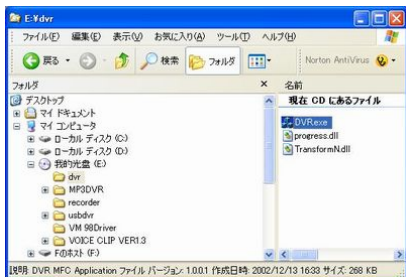
- ※ この作業は1度行えば、コピーした[dvr]フォルダを削除しない限り、毎回実施する必要はございません。
- ※ お使いのパソコンの CD ドライブとのハードウェア的な相性により、付属の CD が読み込めない場合がございます。その際は下記 URL より必要なデータをダウンロードしてお使いください。また、デスクトップタイプパソコンなど、付属の CD が物理的に CD ドライブにセットできない場合も同様に対処してください。

<http://www.accel-trade.com/>

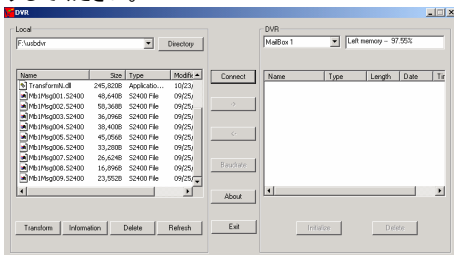
接続の実施

接続用ソフトの準備ができたなら、実際に接続を行います。

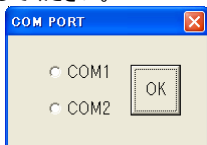
- (1) 付属のシリアルケーブルを使用して、本製品のPC接続端子⑧とパソコンのシリアル端子を接続してください。
- (2) 本製品の電源を入れ、PC接続ボタン⑤を約3秒間、ディスプレイに[PC]の文字が表示される状態にしてください。
- (3) 事前に準備したPC接続用ソフト[dvr]フォルダ内の[DVR] (DVR.exe)をダブルクリックして、専用ソフトウェアの[DVR]を起動します。



- (4) 起動した[DVR]ウィンドウ上で、中央上方にある[Connect]ボタンをクリックしてください。

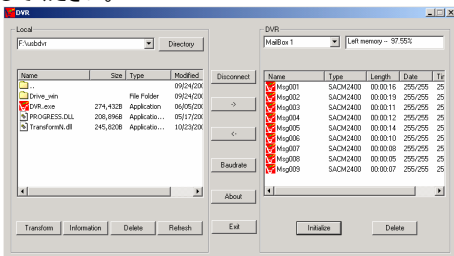


- (5) 接続するCOMポートを確認されますので、任意のCOMポートを選択して接続を実行してください。



通常は[COM1]を選択してください。[COM1]で接続ができない場合は[COM2]を選択してください。

- (6) 接続が完了すると下の図のように、[DVR]ウィンドウ右側に本製品に録音されている録音ファイルが出現します。
- (7) 接続を終了するには[DVR]ウィンドウ上で[Exit]をクリックし、本製品のPC接続ボタン⑤を軽く1回押して待機状態に戻した後、接続を解除してください。



データの転送

パソコンへの接続後、必要に応じて本製品内の録音ファイルをお使いのパソコンへ転送したり、お使いのパソコン内のデータを本製品内に転送することができます。

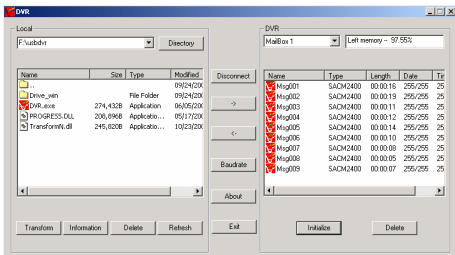


ご注意

※ データ破損の原因となりますので、データの転送中は絶対に USB ケーブルを外さないでください。

本製品内のデータをパソコンへ転送する

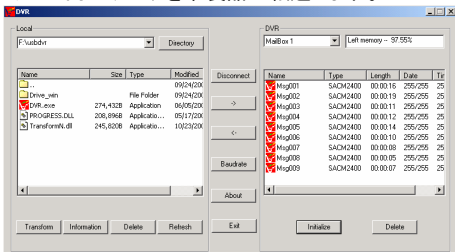
本製品内の録音ファイルなどのデータをお使いのパソコンへ転送します。



- (1) はじめに本製品とパソコンの接続が確立された後、[DVR]ウィンドウ上(右側)でパソコンへ転送したいファイルをクリックして選択してください。
- (2) 次に[DVR]ウィンドウ上で、中央にある[<-]ボタンをクリックしてください。
- (3) 保存先を確認されますので、[デスクトップ]など任意の場所を指定し、転送を実施してください。
- (4) 転送が完了すると、(3)で指定した場所に転送したデータが出現します。

パソコン内のデータを本製品へ転送する

お使いのパソコン内のデータを本製品へ転送します。

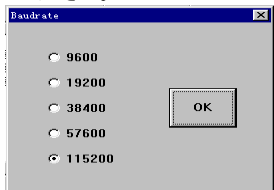


- (1) はじめに本製品とパソコンの接続が確立された後、[DVR]ウィンドウ上(左側)で本製品へ転送したいファイルをクリックして選択してください。なお、[DVR]ウィンドウの左側に転送したいデータがない場合は、[DVR]ウィンドウ上の[Directory]をクリックして、転送したいデータが保存されている場所を選択してください。
- (2) 次に[DVR]ウィンドウ上で、中央にある[->]ボタンをクリックして転送を実施してください。
- (3) 転送が完了すると、[DVR]ウィンドウの右側に転送したデータが出現します。

転送する速度を変更する

本製品とお使いのパソコンとの相性によっては、データ転送が途中で失敗することがございます。その際は、転送する速度を変更してお試しください。

- (1) 本製品とパソコンの接続が確立された後、[DVR]ウィンドウ上で、中央にある[Baudrate]ボタンをクリックしてください。
- (2) [Baudrate]ウィンドウが起動しますので、低速の数値を選択して[OK]をクリックしてください。

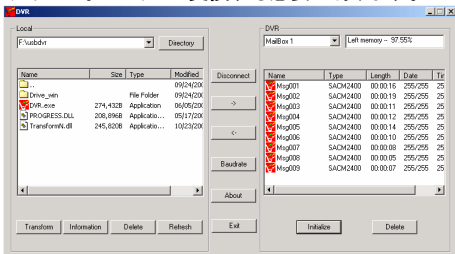


録音ファイルをパソコン上で再生する

本製品で録音した音声ファイルを付属のソフトでフォーマット変換することによって、パソコン上で再生することが可能です。

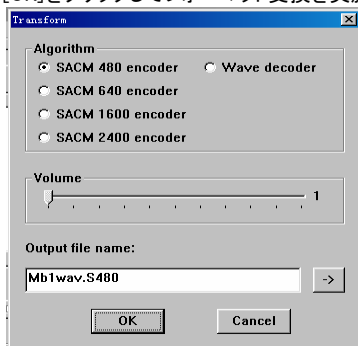
録音ファイルのフォーマット変換

本製品で録音した音声ファイルは独自のフォーマットのため、そのままではパソコン上で再生することができません。録音ファイルをパソコン上で再生するためには、付属のソフトを使用して、パソコン上でも再生できる一般的なファイルフォーマットに変換する必要があります。



- (1) はじめに本製品とパソコンの接続が確立し、パソコン上で再生したい録音ファイルをパソコンへ転送してください。
- (2) 次に[DVR]ウィンドウ上(左側)で、パソコン上で再生したい録音ファイルをクリックして選択してください。なお、[DVR]ウィンドウの左側にパソコン上で再生したい録音ファイルがない場合は、[DVR]ウィンドウ上の[Directory]をクリックして、録音ファイルが保存されている場所を選択してください。
- (3) [DVR]ウィンドウ上で、左下にある[Transform]をクリックしてください。

- (4) [Transform]ウィンドウが起動しますので、[Wave decoder]にチェックを入れ、[OK]をクリックしてフォーマット変換を実施してください。



- (5) フォーマットの変換が完了すると、変換する前の録音ファイルと同じフォルダ内に変換後のファイルが作成されます。



ご注意

- ※ フォーマット変換は新たにファイルを作成するため、オリジナルの録音ファイルはそのまま残ります。
- ※ フォーマット変換の過程で音質が劣化することがあります。
- ※ オリジナルの音質によってはフォーマット変換後の音量が極端に小さくなる場合がありますが、変換時に[Volume]を調節することにより、改善されることがあります。
- ※ フォーマット変換は新たにファイルを作成するため、オリジナルの録音ファイルはそのまま残ります。
- ※ [Transform]ウィンドウでファイルが作成されるフォルダを変更した場合は、ファイルは変更したフォルダ内に作成されます。

フォーマット変換した録音ファイルを再生する

フォーマットを変換した録音ファイルは、パソコン上の音楽ファイルのように Windows Media Player(R)などの一般的なアプリケーションから再生することが可能です。



⚠️ ご注意

- ※ WAV または MP3 の拡張子が適切なアプリケーションに関連付けられている場合は、録音ファイルをダブルクリックすることで再生が可能です。
- ※ Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

トラブルシューティング

トラブル内容	対応
電源が入らない	バッテリー残量が十分かご確認ください。
ディスプレイの表示が薄い	バッテリー残量が十分かご確認ください。
音が聞こえない	音量が0になってないかご確認ください。
	ヘッドホンプラグが汚れていないかご確認ください。
	ファイルが壊れていないかご確認ください。
PC 接続がうまくいかない	ケーブルの接続及び、破損がないかご確認ください。
一定時間放置すると勝手に本体の電源が切れる。	本製品の自動省電力機能です。故障ではございません。
一切のボタン操作ができなくなった。	HOLD 機能が ON になっておりませんか？ HOLD 機能が OFF になっていることをお確かめのうえ、再度お試しください。
ボタンを押してから反応するまでの時間が遅くなった。	バッテリー(電池)の残量不足が原因で発生することがございます。バッテリーの充電、または新品の電池に交換して再度お試しください。
	メモリの空き容量が極端に少なくなる(約0.1%以下)と発生することがございます。不要なデータを削除して再度お試しください。
録音データの消去操作がうまくできない。	削除ボタンを長押ししている可能性がございます。消去操作においては画面に[ErAse]と点滅していることを確認してから再度削除ボタンを押しますが、その際に削除ボタンを長押しすると消去操作がキャンセルされてしまいますので、[ErAse]と点滅時に押す削除ボタンは短く(1秒以内)押ししてください。

主な製品仕様

サイズ	[H]93mm / [W]27mm / [D]16mm
重さ	24g(電池なし)
メモリ容量	8MB / 16MB / 32MB
録音フォーマット	メーカーユニークフォーマット
周波数特性	500Hz ~ 3,500Hz
最大保存ファイル数	127 件
電源	単 4 電池 2 本
電池持続時間	約 6 時間 ~ 12 時間(イヤホン使用時)
ディスプレイ	液晶ディスプレイ
内蔵マイク	コンデンサマイク
内蔵スピーカー	φ 20mm
最大出力	80mW(8Ω)
使用可能温度	0°C ~ 40°C
端子	マイク、イヤホン、PC
対応 OS	Windows(R) Me / 2000 / XP
付属品	イヤホン、オーディオケーブル、固定電話機用回線アダプタ、モジュラーコード、専用ソフトウェア CD、シリアルケーブル、単 4 電池 2 本、取扱説明書

※ 本仕様及びデザインは予告なしに変更することがございます。